

国際教育入門講座 いま私たちは世界の平和のために 何ができるか

宗教的・民族的要因を背景とした紛争が、21世紀の今日においてもなお多くの国、とりわけ途上国で起きています。国の政治、経済、社会の枠組みや制度を破壊するだけでなく、一般市民や子どもを戦闘に巻き込み、あるいは難民の境遇に追いやっています。紛争が今なお多発する国際社会の中で「平和構築」ということばが今までにもまして大きく注目されています。

また地震や津波などの自然災害も、途上国の人々から日々の生活の安全を奪います。災害後の緊急支援を含む災害復興支援もまた、人間の安全を確保し保障する重要な援助活動となります。

本講座では、紛争後の平和定着をはかるために、また自然災害後の復興を支援するために、いかなる取り組みがいつどのように行われたかについて、平和構築や災害復興支援の事業に直接関わってきた講師の先生方の「現場の目」を通して具体的に語られます。途上国における平和構築や災害復興支援の活動の事例について学び、人間が安全で安心して生きていくことができる平和な社会を築くために私たちに何ができるか、何をしなければならないかを考えます。

第1回：平成28年11月06日(日) 13:00～15:00	木邨洗一：京都大学大学院総合 生存学館特定教授	○平和構築—開発援助とテロとの 戦い
第2回：平成28年11月13日(日) 13:00～15:00	猪上美代子：JICA関西職員	○途上国への開発援助—パレスチ ナの支援を通じて—
第3回：平成28年11月20日(日) 13:00～15:00	今井千尋：関西学院大学国際教 育・協力センター准教授	○安全保障論～2030年代の日本の あり方を考える～
第4回：平成28年11月27日(日) 13:00～15:00	栗田佳典：認定NPO法人テラ・ル ネッサンス啓発チームマネー ジャー	○途上国での開発援助—NGOの 活動現場から
第5回：平成28年12月04日(日) 13:00～15:00	山田好一：関西学院大学国際教 育・協力センター教授	○途上国での復興支援—国際緊急 援助隊の活動を通して—
第6回：平成28年12月04日(日) 海外協力派遣活動報告会 15:10～17:10	①関西学院大学2016年度国 際社会貢献活動派遣学生 ②神戸市立外国語大学学生	○国際社会貢献活動からの学び ○元子ども兵社会復帰支援の現場 で学んだこと

- (1)開講日 平成28年11月6日(日)～12月4日(日)
 (2)対象 国際協力の現場について学びたい、海外協力派遣事業に参加したい、国際協力をキャリアにしたいと考えている社会人・大学生・高校生。
 (3)場所 コミュニティ・カレッジ 知の森(桜井市大福263番地の1)
 (4)募集定員 35名
 (5)受講料 無料。但し資料代として600円を徴収。
 (6)駐車場 有(10台分)
 (7)問い合わせ 携帯番号080-3776-7011(島岡)
 (8)申し込み 氏名・年齢・職業・住所・電話番号・FAX番号・メールアドレスを記入の上、コミュニケーション研究センターまでFAXもしくはメールでお申し込みください。



主催：NPO法人コミュニケーション研究センター

TEL/FAX:0744-24-2556 E-MAIL:shimaoka@mx5.canvas.ne.jp

共催：認定NPO法人テラ・ルネッサンス

後援：奈良県・奈良県教育委員会・JICA関西

朝日新聞社奈良総局・共同通信社奈良支局・産経新聞社奈良支局・奈良新聞社・
毎日新聞社奈良支局(アイウエオ順)